

報告文献別一覧表

資料NO.3 - 2

番号	感染症	出典	概要
1	A型肝炎	ABC Newsletter 2003.11.14	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。
2	A型肝炎	Journal of Medical Virology 2004; 72: 10- 16	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ウイルス量のピークはALT値に相関していた。
3	A型肝炎	日本ウイルス学会第51回 学術集会・総会 293	仙台市内で1ヶ月間にA型肝炎の症例が11例、集中して発生した例。
4	B型肝炎	第35回日本小児感染症 学会 2003/11/7-8 演題 86	従来知られていない、特異な経路によるB型肝炎の集団感染。アトピー性皮膚炎を掻破し出血したことによって保育施設内で感染が拡大した可能性が示唆された。
5	B型肝炎	医薬品情報提供ホーム ページ(医薬品等の回収 に関する情報) 2003/9/16,2003/9/25	日本赤十字社と日本製薬株式会社は、個別NAT検査でHBV DNA陽性であることが判明した献血者血漿より製造された血液製剤並びに血漿分画製剤を自主回収した。
6	C型肝炎	AABB Weekly Report, 2004: 10(6), 1-2	オーストラリアで、1990年にHCVスクリーニング検査陽性だった数例の献血者に対し、献血停止の措置をとらなかったことについて。
7	C型肝炎	AABB Weekly Report. 2003; 9(40): 4-5	米国Kansas City Star紙によると、米国でALT試験をもっと早期に実現していたなら、30万例にのぼる輸血によるHCV感染は予防できただろうと報じた。またHCVについての包括的なルックバックは未だ実施していないことについても報じた。
8	C型肝炎	Hepatology 2003; 38(4 suppl 1): 156A-818A.	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人(70%)にHCV-RNAを認められた。この潜在性HCV患者の肝損傷の程度は、通常のHCV感染例より重症である。
9	C型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
10	C型肝炎	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G.	チンパンジーを用いて、ウィンドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる~1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。
11	C型肝炎	日刊薬業2004年1月5日	アルブミン製剤を使用した患者がC型肝炎に感染が疑われる事例が報告された。
12	E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を検査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健康人で3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に渡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。
13	E型肝炎	Internal Medicine.2003; 42(11) 1065	ヒト由来HEV株とブタ由来HEV株が遺伝学的に近縁であり、実験的にブタ由来HEVがチンパンジーに異種間感染することが示されたため、HEVは人畜共通感染症であることが示唆されている。

番号	感染症	出典	概要
14	E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
15	E型肝炎	Transfusion 2003; 43 Suppl: 288	2003年、日本で輸血によるHEV感染が疑われた初の症例の報告。
16	HIV感染	AABB Weekly Report. 2004; 1/2	日本で献血者のNATスクリーニングを実施してから、第一例目の輸血後HIV感染が報告された。
17	HIV感染	AABB weekly report; 10(1) 2004.1.12	日赤のNAT検査導入後初めて、輸血用血液製剤によるHIV感染が確認された。
18	HIV感染	WHO Media Centre Recent press releases 11/25 2003	世界的なAIDSの流行によりHIV感染および死亡者数がこれまでの最高であるとの報告
19	HIV感染	日本感染症学会雑誌 2003; 77(9): 765	日本国内で初めてHIV-2感染症例が遺伝学的に確認された。本症例は韓国内で異性間接触により感染したと推定される。
20	HIV感染	平成15年度第5回薬事分科会血液事業部会資料	HIVに感染した献血者の血液が、NAT試験をすり抜けて出荷され、この血液を輸血された患者がHIVに感染した症例
21	HIV感染 C型肝炎 B型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1596-1603	若年の血液ドナーは年齢層の高いドナーよりも、より高い感染リスクをもつ可能性が懸念される。
22	シャーガス病	AABB Weekly Report 9(43), 3, 2003	ジャーガス病のスクリーニング法が開発中で、FDAで承認され次第(2~4年内)、米国赤十字社はすべての血液についてスクリーニング検査を実施する予定である。
23	シャーガス病	ProMED 20031123-0020 (New York Times, 11/22)	米国輸血患者が不顕性感染している可能性がある、と専門家が指摘
24	シャーガス病	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
25	シャーガス病	AABB Weekly Report. 2003; 9(43): 3	米国赤十字社は、FDAの認可が下り次第、すべての献血血液においてシャーガス病のスクリーニング検査を実施することを計画。
26	シャーガス病	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(12): 1558-62	米国でアメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)の検査で、通常行われている血清学的検査では特異的IgG抗体陰性であった80人中、12人がPCR法で陽性になった。
27	シャーガス病	ProMED 11/23, 2003 (New York Times 11/22, 2003)	米国における輸血後のシャーガス病感染の可能性についての記事。米国ではシャーガス病は稀な疾患で、輸血または臓器移植によるシャーガス病感染者は過去に米国及びカナダで9例のみであるが、専門家は輸血患者数百名で不顕性感染している可能性があるとして指摘している

番号	感染症	出典	概要
28	シャーガス病	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
29	インフルエンザ	CDC MMWR, 1/13, 2004/53(5): 100-103	2004年アジア(ベトナム、タイ)でヒトから分離されたインフルエンザ株は抗原性も遺伝的にも香港で集団発生のもとは異なる
30	インフルエンザ	OIE Alert messages.2004.1.13	日本において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。
31	インフルエンザ	OIE HP 2003/12/12	韓国の養鶏場で鳥インフルエンザの流行が確認された報告
32	インフルエンザ	OIE HP 2004/2/11	米国デラウェア州の2つの養鶏場で鳥インフルエンザの発生が報告された。
33	インフルエンザ	ProMED 12/6. 2003 (Infectious and Parasitological Diseases News 12/3, 2003)	モスクワ大学の学生での原因不明の疾患流行。この流行は、高熱を伴うインフルエンザの重症型の可能性が高い
34	インフルエンザ	ProMED 20040112-0040 (Reuters news alert, 1/12)	山口県が1月12日、トリインフルエンザにより6000羽のニワトリが死亡したと発表した。
35	インフルエンザ	THE LANCET 2004; vol.363, 587-593, 2/21,2004	オランダにおいて、養鶏場の作業員、養鶏業者を対象に高病原性A型インフルエンザの感染状況を調査した結果、感染例が多数確認された。
36	インフルエンザ	THE LANCET 2004; vol.363, January 24, 257	インフルエンザウイルスは非常に不安定であり継続的に少しずつ変化することにより、免疫系による感知を不可能とする。インフルエンザはSARSよりも伝染力が高い。
37	インフルエンザ	The LANCET, 2004; 363; 587-593	2003年3月1日オランダ農業省はトリインフルエンザA型(H7N7)集団感染に対する措置として、全家禽と家禽関連生産物の輸出禁止を発表した。
38	インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。
39	インフルエンザ	WHO HP 1/14, 2004	2003年10月以来、ベトナムのハノイでは14人が重症の肺炎症状を呈し12人が死亡、そのうち3人が遺伝子解析の結果、鳥インフルエンザH5N1感染により死亡したことが判明した。
40	インフルエンザ	WHO HP 2003/12/10	香港で発生した鳥インフルエンザのヒトへの感染症症例の報告
41	インフルエンザ	WHO HP 2004/1/14	ベトナムで重篤な気管支炎で死亡した3名から鳥インフルエンザが検出された報告

番号	感染症	出典	概要
42	インフルエンザ	WHO HP 4/5, 2004	WHOは、カナダでのトリインフルエンザ発生に対して、世界的感染流行対策を提唱した。WHOはトリインフルエンザウイルスを入手し、そのウイルスを特徴づけ、診断とワクチン開発の必要性を審査する一連の活動を開始する。
43	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/13, 2004	ヒトから採取された検体からトリインフルエンザ株が確認された。検体は重症呼吸器疾患で入院した小児2例および成人1例から採取された。
44	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/22, 2004	ベトナムで採取されたトリインフルエンザ株は香港で得られた株とは、抗原性も遺伝性も異なっていた。
45	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/23, 2004	タイで高病原性トリインフルエンザのヒト感染例2例が確認された。
46	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/29, 2004	タイ及びベトナムでの高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）患者の推定症例数。総症例数11（タイ3、ベトナム8）、うち死亡例数8（タイ2、ベトナム6）。
47	インフルエンザ	WHO HP CSR 2/12, 2004	高病原性トリインフルエンザの発生状況と人への感染状況を時系列的に報告したもの
48	インフルエンザ	WHO HP Disease Outbreak News 1/15, 2004	WHOは鳥インフルエンザに関するファクトシートを公表。ウイルス変異のリスクについての情報提供等が行われた。
49	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record(WER), 2004; 79(7), 65-76	高病原性鳥インフルエンザの流行がアジアの8ヶ国において報告されている。ヒトへの感染が今回の流行ではベトナムとタイの2ヶ国で報告されている。
50	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record. 2004; 79(7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検証した。
51	インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。
52	インフルエンザ	WHO/CSR/disease/2004 1/29	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例
53	インフルエンザ	WHO/CSR/don/2004_02_01	ベトナムで姉妹がトリインフルエンザにより死亡した。感染伝播のルートは判明できなかった。
54	インフルエンザ	www.cdc.gov/flu/avian	北米で起こったトリインフルエンザA型（2004年カナダ：H7N3、2002年アメリカ：H7N2）は、アジアで起きたH5N1とは明確に区別され、重篤な症状に至らなかった。
55	インフルエンザ	大分県HP	2004年2月大分県において、高病原性鳥インフルエンザが発生したことの経過報告

番号	感染症	出典	概要
56	インフルエンザ	共同通信	京都府は3月7日、丹波町と園部町でカラスの屍骸からトリインフルエンザウイルスを検出したと発表した。
57	インフルエンザ	農林水産省HP 平成16年1月12日プレスリリース	山口県の採卵鶏農場において家畜伝染病に指定されている高病原性鳥インフルエンザの発生があった。国内では1925年以来、79年ぶりの発生である。
58	インフルエンザ	農林水産省のHP	山口県の養鶏場で鳥インフルエンザの感染が確認された報告
59	インフルエンザ	読売新聞2004/1/24	鳥インフルエンザの人から人への感染が懸念される
60	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003.10.1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止するとのことである。
61	ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPMD/2003/0025 final D(03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した節足動物媒介感染症（WNVを含む）の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。
62	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003.10.1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止するとのことである。
63	ウイルス感染	EMA/CPMP/BWP/5180/03; 10/22, 2003	EMAのCPMPは、血漿由来医薬品から潜在的ウイルス感染のリスク評価を行う際に製造者が従うべき原則及び血漿由来医薬品の審査基準の概説を示したガイダンスを公表した。
64	ウイルス感染	European Commission/ Public/ Health/ 16 Oct. 2003	節足動物媒介感染症（WNVを含む）が輸血用血液と移植用臓器に及ぼす影響について、EU医薬品・医療用具科学委員会の意見について。EU外からの入国後4週間の献血延期、WNVやアルボウイルス感染の疫学データを収集する必要がある。
65	ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPMD/2003/0025 final D(03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した節足動物媒介感染症（WNVを含む）の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。
66	ウイルス感染	ProMED 3/23, 2004 (Australian Broadcasting Corporation, Associated Press report, 3/22 2004)	呼吸器感染の原因となり、世界中に感染拡大している可能性が高い、未確認のコロナウイルスを同定した。これまで、原因が特定できなかった呼吸器疾患患者の多くの病因であった可能性がある。このウイルスは重症の感冒症状を惹起するが、重症肺炎はきたさない。致死性感染の可能性は高くない。
67	ウイルス感染	ProMED-mail 2/6, 2004 (The Nation, City News 2/6,2004)	バングラデシュの原因不明の致死性疾患は、トリインフルエンザとは関係のないウイルス性脳炎であり、ニパウイルスやヘンドラウイルスに近いウイルスが原因と述べている。また、ニパウイルス属の新たな種である可能性がある。

番号	感染症	出典	概要
68	ウイルス感染(ニパウイルス)	American Journal of Pathology 2003; 163(5): 2127-37	ニパウイルスをゴールデンハムスターの鼻腔内または腹腔内に投与すると、それぞれ9-29日、5-9日に死亡した。ゴールデンハムスターはニパウイルス感染症のモデル動物として提唱される。
69	ウイルス感染(ニパウイルス)	ProMED 2/27, 2004 (WHO, CSR, Disease Outbreak News 2/26,2004)	2004.2.26日時点でWHOはニパ様ウイルスによる死亡患者17名を含む患者22名の報告を受け取っている。その内11名が検査によって診断確定している。
70	ウイルス感染(ニパウイルス)	Science.2004; 303(5661):1121	ニパウイルス感染が再興しており、バングラデシュでは40名以上の患者が脳炎を伴う重症症状を呈し、14名が死亡した。疫学的には今回の流行と患者のほとんどが養豚業者であった以前のマレーシアの流行とは異なる。
71	ウイルス感染(不明)	ProMED 12/5, 2003 (Jornal do Tocantins 11/28, 2003)	ブラジルTocantins州のAraguacema市とPium市などで、デング熱に類似したウイルス性感染症と考えられる疾患による患者288例が報告された。
72	ウイルス感染(不明)	ProMED 2/21, 2004 (BBC and Radio News Australia 2/13, 2004)	オーストラリアの養豚場で原因不明の疾患が発生した。この疾患により不確定数のブタ胎児と子豚が死亡したが、New South Wales州代理副主任獣医官は、原因ウイルスは成長したブタやヒトには感染しないと述べた。
73	ウイルス感染(不明)	ProMED 4/15, 2004(Xinhuanet 4/13)	ザンビアで原因不明のウシの致死性疾患が発生した。
74	ウイルス感染(不明)	ProMED-mail 8/27, 2003 (Newsday Trinidad and tobago, 8/23 2003)	2003年、トリニダードトバコでデング熱とともに原因不明のウイルス性疾患が発生した。
75	ウイルス性気道感染(hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPVは5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。
76	ウイルス性脳炎	ProMED 1/26, 2004 (Matamat.com 1/24, 2004 The Daily Star 1/24,2004)	バングラデシュのGoalundoで原因不明の致死性疾患
77	ウイルス性脳炎	ProMED 2/7, 2004 (The Nation, City News 2/6,2004)	バングラデシュの原因不明の致死性疾患は、トリインフルエンザとは関係のないウイルス性脳炎であり、ニパウイルスやヘンドラウイルスに近いウイルスが原因と述べている。また、ニパウイルス属の新たな種である可能性がある。
78	ウイルス性肺炎(不明)	ProMED 12/15, 2003 (EID Weekly Updates; Emerging and Reemerging Infectious Diseases, Region of Americas, Vol.1, No.23, 12/11, 2003)	2003年9月25日～11月28日、コロンビアで重症急性呼吸器疾患患者38名がコロンビア国立保健研究所に報告された。このうち、13名が死亡したが、患者のうち2名からインフルエンザA型ウイルス、2名からパラインフルエンザウイルス、1名からRSウイルスとパラインフルエンザ1型ウイルス、1名からRSウイルスとインフルエンザA型ウイルスが検出された。
79	ウエストナイルウイルス	AABB, 2004 Spring, the Executive perspective	WNVは年間を通じて感染の可能性があるため、多くの採血施設(米国)は年間を通じてテストを行うことを決めた。
80	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter 2004.1.30	アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
81	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(13); 281-284, 2004.4.9	輸血後WNV感染が認められたことについて。WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合はNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。

番号	感染症	出典	概要
82	ウエストナイルウイルス感染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-21 9/3, 2003	カナダ・サスカチュワン州ではWNV感染症が高率に見られたため、カナダ血液サービス（CBS）は2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更した。
83	ウエストナイルウイルス感染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-24 9/24, 2003	カナダ・CBCでは、2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更したが、開始後3週間、WNVは検出されなかった。CBSはWNV感染症のピークは過ぎたと判断し、9月23日にミニプールNATに戻した。
84	ウエストナイルウイルス感染	CDC HP West Nile Virus September 29, 2003	2003年9月29日現在の米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数5124例、うち死亡98例。
85	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 10/24, 2003/52(42); 1017-9	米国ウイスコンシン州保健当局は、七面鳥飼育農場で働く従業員2名のWNV発症者を調査した結果、この農場の従業員と七面鳥がWNVの抗体陽性率が高いことが判明し、蚊以外からのWNV感染の可能性が示唆された。
86	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 4/9, 2004/53(13): 281-284	WNVに対する血液検査により輸血用血液の安全性が改善された。しかし、WNV輸血感染のリスクはわずかに残っており、このリスクに対処するために、血液検査のスクリーニング検査方法の変更が2004年に計画されている。
87	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32);769-72	2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人（約0.03%）がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人（約0.015%）がWNV-RNA陽性だった。
88	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 9/18, 2003/52(Dispatch):1-3	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年6月から9月にかけてのNAT検査の結果は、1次検査陽性は全体の0.05%、そのうちの約半数、全体の0.02%がWNV血症可能性血液と考えられた。また、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。
89	ウエストナイルウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2001; 7(4): 714-21	WNVをハムスターの腹腔内に投与すると、5-6日間でウイルス血症を示し、続いて抗体が発現、脳炎を起こし、7-14日間に約半数が死亡した。
90	ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/23, 2003 (Eurosurveillance Weekly 10/23, 2003)	5週間以内に、同じ地区ウエストナイルウイルス感染でヒト患者2例とウマ症例3例が発生したことから、感染暴露がVar地区で起こったと強く示唆された。
91	ウエストナイルウイルス感染	ProMED 8/22, 2003 (Eurosurveillance Weekly, vol.7, 8/21, 2003)	2002年8月28日～2003年3月1日のCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は21名であった。欧州における供血者へのWNV対策は、米国カナダからの帰国者は、帰国後28日間は供血を延期すること、米国カナダの渡航歴がありWNVの疑いの病歴を有する者あるいは滞在中・帰国時に頭痛を伴う発熱があった場合は、症状発生から28日間は供血を延期することとしている。
92	ウエストナイルウイルス感染	ProMED 9/11, 2003 (The Leader-Post Regina 9/9, 2003)	ウエストナイルウイルスの多発地域で献血された血液製剤をカナダ中の病院から回収した。
93	ウエストナイルウイルス感染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(13): 1236-45	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。
94	ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1007-17	2002年、米国のWNVの発現率の高い16州及び大都市圏において、輸血を介したWNV感染の平均リスクは供血者1万人あたり1.46-12.33と推定された。

番号	感染症	出典	概要
95	ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1023-8	血液分画製剤のウイルス不活化工程（ウイルスバリデーション）がWNVにも有効であることが確認された。
96	エールリッヒア症	Transfusion 2003; 43(9s): SP8, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でヒト顆粒球性エールリッヒア症の病原体に対する抗体保有率が3～4%に達する州がある。冷蔵保存した血液中で18日生存する本病原体は輸血用血液にとって脅威となる可能性がある。
97	エールリッヒア症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP8	米国でAnaplasma phagocytophilumによる輸血後感染(疑い)症例が過去に1例あった。コネティカット州の2001年2002年の抗体陽性率が1996年とほぼ同程度であった。
98	エンテロウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1060-6	英国スコットランドでの供血血液のミニプールNAT調査したところ、エンテロウイルスが同定され、血液成分を通してのエンテロウイルスの感染について示唆された。
99	クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
100	クロイツフェルト・ヤコブ病	BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003.12.17	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
101	クロイツフェルト・ヤコブ病	Britissh Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
102	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC Infectious Diseases Testimony, 2004.2.24	CWDと米国のvCJD患者との因果関係は認められなかったが、ヒトプリオンタンパク質がCWD関連プリオンによって病原性プリオンタンパク質に変換されたという研究報告もある。米国におけるCWDは現在は地域が限定されているが、汚染地域が広がるのが懸念されている。
103	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
104	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press release, 2004.03.16	vCJD伝播リスクの予防措置として、1980年以降英国で輸血経験のある人は、供血を禁止する。(2004/04/5から施行)
105	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CPMP/BWP/5136/03; 11/20, 2003	EMAのCPMPは、変異性クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調書に関する審議文書を公表した。
106	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所です約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
107	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674（扁桃及び虫垂）のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
108	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/24, 2003 (Washington Post 12/23, 2003; USDA 12-25 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確認された。

番号	感染症	出典	概要
109	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040219-0020 (Newsday.com, 2004/02/05)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
110	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 5/18 2004 (National Science Foundation, 5/12 2004)	CWD 感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWVが伝播する可能性がある。
111	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail, 20040612-0060 (The Veterinary Laboratories Agency(UK); Veterinary Record. Vol.154(24), 766-767)	ウシの原因不明の神経疾患(若い雌牛の部分的な脚の麻痺)に関する報告。TSE、各種ウイルス等は陰性であった。
112	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 411-412	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421と422-428の論文に対する、コメント。
113	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
114	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
115	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 1/30 2004	FDAは反芻動物への哺乳類の血液または血液製品の投与禁止措置を発表
116	クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
117	クロイツフェルト・ヤコブ病	American Chemical Society, Abstracts of Papers 2003; 226(1-2): pANYL11	血液凝固第 因子製剤及び プロテイナーゼインヒビター治療製剤を生成する3つの分画工程を対象とするスパイク試験において、添加サンプルとしてvCJD及びsCJD患者の脳組織を用いて試験を実施した結果、血漿分画工程でPrPscが除去された。
118	クロイツフェルト・ヤコブ病	American Journal of Pathology 2004; 164(1): 143-53	免疫組織化学的手法とWB法を用いて、末梢組織における病原性プリオン蛋白質の組織分布と生化学的特性を分析した。散発性および医原性CJDにおいて、プリオン蛋白質はリンパ細網組織で蓄積されていなかったが、vCJDでは、蓄積が検出された。しかし、心臓、肺、肝臓などの器官には検出されなかった。
119	クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News online 2004/12/17	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
120	クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals. 2004; 3281): 1-10	血漿製剤の製造工程において用いられるナノ濾過により、CJD感染因子(スクレイピー羊脳ホモジネート、精製されたスクレイピー因子)が除去できる。
121	クロイツフェルト・ヤコブ病	BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。

番号	感染症	出典	概要
122	クロイツフェルト・ヤコブ病	Britissh Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月、英国保健相は輸血に関連したvCJDの可能性例を英国議会に報告。確認された場合、世界初の輸血によるvCJD感染症例となる。
123	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	PaIIフィルター・シリーズ(PaII Co.)はPrPscを99%以上除去する。
124	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	羽毛分解酵素ケラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。
125	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP 12/29 2003	2003年12月に米国で最初のBSE牛が発見された報告
126	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP 2004/1/9	米国で1例目のBSE感染牛が発見された。その調査報告
127	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
128	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 2/21, 2003/52(7); 125-127	野生シカ肉を摂取した男性の退行性神経疾患とCWDとの関連性についての報告
129	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
130	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY 2003, 13(51), 2	輸血によるvCJDの感染が疑われる報告
131	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly: vol.13 no.51, 2003/12/18	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
132	クロイツフェルト・ヤコブ病	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMA SERVICES FDA 79th Meeting of BLOOD PRODUCTS 2004/3/18	英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給呈し政策を変更する必要はないとしている。
133	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health ホームページ Public Health Link 2003/12/17	輸血を受けた患者が死亡し、脳内にCJDの兆候が見られた。ドナーは献血時にvCJDは発症していなかったが、3年後にvCJDを発症し死亡。
134	クロイツフェルト・ヤコブ病	Dev Biol. Basel, Karger, 2002, vol 108, pp93-98.	実験的BSE感染の臨床症状が現れる以前(無症状)の健康的なヒツジの全血を輸血することによって、他のヒツジにBSEが感染する可能性が示唆された。
135	クロイツフェルト・ヤコブ病	Disease Information 16(52)	米国における初のBSE確定診断

番号	感染症	出典	概要
136	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMBO Reports 2004 Vol.5 No.1: 110-115, online version 2004/12/19	フランスでBSEと診断されたウシで特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
137	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CPMP/BWP/5136/03; 11/20, 2003	EMEAのCPMPは、変異性クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD) のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調書に関する審議文書を公表した。
138	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。
139	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Official Journal C24,28/1/2004 6-19	ヒト用医薬品及び動物用医薬品を介するTSEリスクを最小限にするためのガイドランスの改訂
140	クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2003; 4. 530-3	TSEのひとつであるスクレイパーを経口感染させたハムスターの舌筋、7種類の骨格筋、心筋、坐骨神経に病原性プリオン蛋白が蓄積したことが確認された。
141	クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5(1). 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
142	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA Health&Humans Services HP 2004/1/26	FDAは、BSE発生病原体への暴露からアメリカ国民を保護すると共に、米国のウシ群におけるBSEの伝播を防止するための防衛措置の強化をはかることを発表した。
143	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA HP 2/27, 2004	BSE、vCJD等に関する情報がQ&Aで解説されている。
144	クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR. 2004; 52(53): 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの遡り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。
145	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Blood Service 2003. 12.17	英国における血液により伝染するvCJDの未知の危険に関する陳述
146	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Blood Service, 2004/03/16	1980年以降英国で輸血経験のある人は、供血を禁止する。(2004/04/5から施行)
147	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2003; 425; 35-6	飼育ミュールジカにおける水平感染あるいは母子感染に起因する慢性消耗病 (CWD) の発生率を比較したところ水平感染が高い発症率で生じることが分かった。
148	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9(12): 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
149	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature.425,2003,648	日本とイタリアでウエスタンブロットのパターンの異なる新しいプリオン株が発見された。

番号	感染症	出典	概要
150	クロイツフェルト・ヤコブ病	Newsday.com 20040219-0020	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
151	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 1/2 2004; Vol.17-No.1	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。
152	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。
153	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE News Press Release, 12/24 2003 他	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。
154	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA, 101(9) p3065-3070(2004)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
155	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 1/8, 2004(EMBO Reports 2004; 5(1). 110-5)他	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
156	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/18, 2003 (BBC News online 12/17, 2003)	英国で、1996年にvCJDと考えられる供血者由来の血液を輸血した患者が、2003年秋にvCJDで死亡した。
157	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/24, 2003 (Washington Post 12/23, 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。
158	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafran, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解しがたい。
159	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 2/11, 2004 (米国農務省Web 2/9 2004)	ワシントン州で発症したBSEの調査の完了報告
160	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 2/19, 2004 (Newsdays.com 2/17, 2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
161	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 10/12, 2003 (読売新聞2003年10月12日)	日本での8例目のBSE感染牛と異常プリオンの構造が同じと見られるウシ2頭が、2002年イタリアで確認されており、イタリアから輸入されたウシ由来の肉骨粉が感染源の可能性はある。
162	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 411-412	同じLancetの論文に対して意見を述べている。BSE動物の脳ホモジネートを経口及び静脈内投与して、感染実験をしているが、血液による推定感染力は数段低いと考えられる。この症例が輸血と無関係である可能性は極めて低い。
163	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421	vCJD症状発症の3.5年前に供血した供血者からの赤血球輸注を受けた受血者1例が6.5年後に、vCJD症状を発症し、供血者、受血者が共にvCJDにより死亡していたことなどを報告している。

番号	感染症	出典	概要
164	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
165	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET Neurology 2003(2) 757-763	スイス連邦においてクロイツフェルトヤコブ病の発生頻度が上昇したとの報告
166	クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	スイスで1996年～2002年にCJDで死亡した36人の患者の神経系以外の組織を調査したところ、患者の約1/3から脾臓や骨格筋にPrPscを検出した。罹患期間が長いほど、神経系以外にPrPscが存在すると考えられる。
167	クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2004; 350(6): 539-542	米国でのvCJDに関する感染防止策の状況と見解
168	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transcript, March 18, 2004, 151-161	15th TSE Advisory Committee Meeting 議事録より。輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、CDCはCJDサーベイランス対策を強化すべきである。また、カナダ産の米国乳牛のBSE診断例を受けて、農務省はBSE対策を強化すべきである。
169	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-1694	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
170	クロイツフェルト・ヤコブ病	TSE in Animal Populations-Fact and Fiction 9/10-11,2003	牛海綿状脳症と慢性消耗病について現在までの事実の報告。ウシにBSE感染牛の脳組織を与えた場合、0.01gでもウシが感染・発病することが明らかにされた。CWDについては、自然感染の証拠は未だに明らかになっていない。
171	クロイツフェルト・ヤコブ病	United States Department of Health&Human Services HP 2004/1/26	米国保健福祉省はBSEに対する現行の措置を強化することを発表した
172	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA NEWS RELEASE 2003/12/23	2003年12月に米国で最初のBSE牛が発見された報告
173	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA NEWS RELEASE RealeaseNo.0432.03	米国ワシントン州で飼育されていた歩行困難なホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEとして疑われた。
174	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA STATEMENT Office of Communications(202) 720-4623	米国で判明したBSE感染ウシと共にカナダから移送された28頭およびその群れで生まれた25頭を含め、BSE検査は陰性であり、未回収のウシがBSE陽性である可能性は非常に低いと考えられている。
175	クロイツフェルト・ヤコブ病	英国Department of Health HP, Public Health Link 1/4, 2004	vCJD伝播のリスクに対する更なる予防措置として、輸血経験者からの供血資格者から除外すると発表した。
176	クロイツフェルト・ヤコブ病	英国Department of Health HP, Public Health Link 12/17, 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
177	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	茨城県の検査陽性牛について、病理組織学的検査等の結果を精査したところ、非定型的なBSEと判断された。

番号	感染症	出典	概要
178	クロイツフェルト・ヤコブ病	米国規制当局発表 2003/12/24	ワシントン州のホルスタイン雌牛についてBSEが疑われる旨を発表した
179	クロイツフェルト・ヤコブ病	読売新聞2003年12月18日	輸血でvCJDが感染する可能性があることが示唆された。
180	コロナウイルス	Nature Medicine, vol.10(4), 368-373	4番目のコロナウイルスとして、HCoV-NK63が同定された。呼吸器疾患に罹患した患者からHCoV-NL63が検出された。
181	サイトメガロウイルス感染	Vox Sanguinis 2004; 86: 41-44	CMV感染は通常、健全な免疫システムを持つ人において、微細で時には、無症候性の病状を発現させる。しかし、免疫障害の患者では多大なリスクが示される。健全な供血者であっても、提供時に無症候性のCMV一次感染症に罹っていることがあるので、血液製剤から完全にCMV感染を排除するのは難しい。著者は、CMVの一次感染頻度を測定するためのアルゴリズムを開発し、一年あたりのセロコンバージョン率は0.55%だった。
182	サルモネラ症	Emerging Infectious Diseases 2004; 10(1): 60-68	台湾でヒトとブタからのサルモネラ菌を分離し調査したところ、共通した遺伝子型を持つ菌にシプロフロキサシン耐性、さらに多剤耐性があることがわかり、ブタがヒトへの感染源となりうることを示唆する。
183	ジフテリア	ProMED 9/27, 2003 (Times of India 9/17, 2003)	インドで、最近2週間にジフテリアに非常によく似た病態を呈する原因不明の疾患の患者6名が発生、そのうち1名が死亡した。
184	重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
185	重症急性呼吸器症候群	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 17(6), 11	中国におけるSARS患者9例についてのサマリー。
186	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
187	重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
188	重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
189	デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起これると予想する国は多い。
190	デング熱	ProMED 2/18, 2004 (Channel News Asia- Singapore 2/16)	シンガポール、スリランカ、インドネシア、中国及びオーストラリアでデング熱が大流行している。特にインドネシアでは、数千名が感染し、17名が死亡した。

番号	感染症	出典	概要
191	デング熱	ProMED-mail 10/8, 2003 (HK Dept of Health 10/7, 2003 Press Release)	中国香港で、衛生署と食品環境衛生署は本年初のデング熱の地域内感染確定例(26歳・男性)を確認、予防措置を取るよう警告した。
192	デング熱 ウイルス 感染	Britissh Medical Journal, 2003; 327(7428): 1368-e	アジア各国におけるデング熱の流行について。適切に治療すれば致死率は1%以下である。医療制度の質と医療従事者の経験や潜在的な危険の認識に左右される。
193	デング熱 ウイルス 感染	ProMED 02/18,2004	アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。
194	トリコス ポロン感 染	J Mycol Med 2003; 13: 155-6	Trichosporon mucoidesが糖尿病患者の尿から分離された。本菌は表在性感染として検出されるが、時々、免疫能が低下した全身性感染症にも見られる。本症例は尿路感染に関連した最初の報告である。
195	パスツレ ラ菌性敗 血症	Scadinavian Journal of Infections Diseases 2003; 35(8): 512-4	イスラエルで78歳の灼熱感、排尿困難を訴えた男性患者の尿からパスツレラ菌が検出された。患者は飼犬に噛まれたことはなく、動物によるスクラッチや咬傷はなかった。
196	バベシア 症	日本輸血学会雑誌, 50(2):, 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
197	バベシア 症	Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S44-030H	米国において、Babesia microtiがゲインとなる輸血後バベシア症が40症例以上報告されている。(日本でも海外渡航歴の無い献血者からの血液による、輸血後感染事例が1例ある1999年)
198	バルボウ ウイルス感 染	Complementary Medicines Evaluation Committee (CMEC) Public Recommendation Summary Meeting 43,2003/11/28	オーストラリア代替医療評価委員会(CMEC)は、ブタ由来の膵臓酵素抽出物を含む製品は、登録代替医薬品の材料としての使用に適しており、ブタバルボウイルス(PPV)の感染性を減らすのに適切な方法や要件導入の時期について、TGA(Therapeutic Goods Administration)が企業に意見を求めること、PPV不活化のパリテーションを行うことなどを勧告した。
199	バルボウ ウイルス感 染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2004; 350(6): 586-97	バルボウイルスB19感染の臨床的症狀は感染者の免疫状態等によって様々である。15歳の若年者の半数は特定の抗バルボウイルスB19抗体を保持している。老年期にはほとんどの人は血清反応陽性となる。ウイルスは呼吸器からの飛沫により拡散され、家庭内での二次感染は非常に高い。脂質エンベロープの欠如と遺伝子的安定性が、バルボウイルスの熱および界面活性剤による不活性化を不可能としている。
200	バンコマ イシン耐 性腸球菌 感染	Animal Science Journal (2003) 74, 521-523	日本の4ヶ所の養豚場から種々の年齢群のブタ糞について調査を行った。京都の1養豚場の離乳ブタおよび成長ブタの糞から40株のバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)を単離した。日本のブタのVRE汚染に関する最初の報告
201	ハンタウ ウイルス感 染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介されるハンタウイルス属ツーラ種の感染により腎症候性出血熱と肺炎を併発した初めての症例の報告。
202	ヒト免疫 不全ウイル ス	毎日新聞2003/12/29	HIVに感染した献血者の血液が、NAT試験をすり抜けて出荷され、この血液を輸血された患者がHIVに感染した症例

番号	感染症	出典	概要
203	ブルセラ症	ProMED 12/17, 2003 (Animal Agriculture website 12/12, 2003), ProMED 1/11, 2004 (Denver Post, Denver CO, 米国 1/10), Pro MED 1/25, 2004 (CBC Canada 1/23)	Wyoming州西部で飼育されているウシの群で、ブルセラ症が確認された。野生のヘラジカ群から由来したのではと疑っている。
204	ブルセラ症	ProMED 3/20, 2004(The Scotsman 3/18)他	イギリスでウシのブルセラ症の流行により、近隣の農場 8 ヶ所において移動制限が実施された。
205	ヘルペスウイルス感染	Transfusion 2003; 43(12): 1764-5	ブラジルで供血者におけるヒトヘルペスウイルス8型 (HHV-8) の抗体検査及びDNA測定を行った結果、HHV-8が輸血により伝播する可能性が示唆された。
206	マイコプラズマ感染	Rheumatol Int 2003; 23: 211-5	慢性疲労症候群及び線維筋肉痛症候群の血液をPCRで測定した結果、約50%にマイコプラズマ感染が確認された。これは健康人のマイコプラズマ感染率約10%と比べ、高率であった。
207	マラリア	CDC MMWR, 11/7, 2003/52(44): 1075-6	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。
208	マラリア	CDC MMWR, 9/26, 2003/52(38): 908-11	米国フロリダ州で2003年7-8月で、7名のマラリア感染者が確認された。感染者はいずれも過去のマラリア感染歴もなく、最近に輸血、移植、薬物静脈注射の投与経験もなかった。6名は感染地域への渡航歴がなく、1名は2年前にコロンビアから移住した者だが、前居地はマラリア感染区域ではなかった。7名のマラリア原虫のDNAは一致した。
209	マラリア	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/14, 2003	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。
210	マラリア	Morbidity and Mortality Weekly Report. 2003, 52(44), 1075-6	輸血 (PRBCs) によるマラリア感染の報告
211	リーシュマニア症	AABB Association Bulletin #03-14, 2003, 10/10	BPACは全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
212	リーシュマニア症	AABB Weekly Report. 2003; 9(44): 3	BPAC(Blood Product Advisory Committee)は全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
213	リーシュマニア症	ABC Newsletter 1/2, 2004	FDAはイラク以外のリーシュマニア流行地域からの渡航者及び移民の供血延期措置は不要とし、措置の適応をイラクに限定した。
214	リューシュマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004; 189; 1018-23	リューシュマニア症治癒後の患者について、瘢痕からリューシュマニアに特異的なDNAが検出された。
215	レトロウイルス感染	Transfusion 2002; 42(7), 886-891	サル泡沫状ウイルス(SFV)感染者からの輸血を受けた4事例について、感染伝播は確認されなかった。

番号	感染症	出典	概要
216	レトロウイルス感染症	ProMED 3/20, 2004 (The Times newspaper英国 3/19,2004)	カメルーンではゴリラ、マンドリル、グエノンといった3種類の宿主からサル泡沫状ウイルス(SFV)がヒトに感染していることを確認した。
217	レプトスピラ	Vector Borne Zoonotic Diseases3(3):141-147,2003	米国テキサス州の屠殺場のウシから得た血清1193検体および尿300検体について調査した結果、レプトスピラ感染症が高率で陽性を示した。
218	レンサ球菌性髄膜炎	感染症学雑誌 2003; 77(5): 340-2	ブタ由来と思われる連鎖球菌による化膿性髄膜炎の発症例の報告。
219	レンサ球菌性敗血症	International Journal of Hygiene and Environmental Health 2002: 205: 385-92	ブタを輸送した36歳のトラック運転手にストレプトコッカス・スイス 型による敗血症性ショックが起こった。ブタ関係業者の132名の労働者に咽頭検査等を実施したところ、ストレプトコッカス・スイスの定着率は5.3%であった。
220	レンサ球菌性敗血症	Transfusion 2003; 43(9s): SP7, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でB群レンサ球菌による輸血後敗血症が2例報告された。1例はフェレーシス血小板輸血後に死亡、使用製剤及び患者血液を培養した結果、B型レンサ球菌を検出した。他の1例は治癒したが、輸血に用いた血小板製剤5バッグ中、2バッグからB型レンサ球菌を認めた。
221	レンサ球菌性敗血症	Lijecnicki Vjesnik 2003; 125: 134-7	クロアチアで自宅でブタを処理したことにより、感染したと思われるストレプトコッカス・スイス 型患者が2例発生した。
222	レンサ球菌性肺血症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP7	米国において発生した、B群連鎖球菌による輸血後敗血症性血小板輸血反応を起こした症例2例の報告。(日赤は輸血用血液製剤中の最近の検出方法及び感染性因子の不活化について検討中)
223	ロスリパーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリパーウイルスは、ヒト蚊間の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2~21日である。
224	該当無し	Sience Vol303 2004.02.20	バングラデシュで起きたニパ(様)ウイルス感染の流行について。今回の流行で始めてウイルス分離ができたので、CDCがニパかどうか判別するだろう。治療法は無く、ワクチンは開発段階にある。
225	該当無し	The pediatric Infectious Disease Journal, Vol.22, No.12 Dec 2003: 1093-6	サル痘(天然痘に似ているがより軽症)に感染した小児の事例について。アフリカから米国へ輸入された小型哺乳類からイヌに感染し、さらに小児へ感染した。アフリカでの前例2例と同様の所見であった。
226	気道感染	ProMED 2/7, 2004 (XinhuaNet.com 2/5, 2004)	90名のネパール人が原因不明の疾患に罹患。この疾患の症状は、呼吸困難、発熱、めまい、倦怠感、咳そうである。
227	狂犬病	Journal of American Veterinary Medical Association223(12):1736-1748,2003	2002年の米国及びプエルトリコにおけるヒト及び動物の狂犬病の発生数の状況報告。特に、狂犬病を発症したウシの数は増加していた
228	狂犬病	ProMED 10/21, 2003 (Infectious and Parasitic diseases news 10/18,2003)	2003年1~9月の期間に、ロシアで動物での狂犬病症例20頭が確認された
229	狂犬病	ProMED 4/14, 2004 (Ragions.Ru 4/10, 2004)	ロシアのStavropol地域で動物での狂犬病症例数が倍増したとの報告

番号	感染症	出典	概要
230	狂犬病	ProMED-mail 9/12, 2003 (China Daily 9/3, 2003)	中国で狂犬病による死亡数が増加の一途にあり、2003年前半では、2002年同期比90名増の550名に達した。
231	結核	Int.J.Syst.Evol.Microbiol.55(5),2003,1305-14	アザラシから分離されたウシ及びヒトへの病原性を持つ新しい結核菌についての報告
232	結核	ProMED 10/22, 2003 (scotsman.com 10/21, 2003)	スコットランドでウシ型結核の流行。
233	結核	ProMED 12/8, 2003 (Canadian Press 12/1, 2003)	カナダManitoba州で飼育されていたウシ2群が、群内の個体それぞれ1頭が結核症検査陽性となったため、隔離されている。
234	結核	ProMED 2/17, 2004(Reuters 2/11)	イギリスのDevon で飼育されているウシの群約6分の1でウシ結核症流行が発生している。
235	口蹄疫	Journal of Virology77(24),13017-13027,2003 12	口蹄疫ウイルスの宿主域や毒性には、3Aや3Bという非構造蛋白質が関与していたことが判明した。
236	高熱	ProMED 12/4, 2003 (Tyumenskaya 12/1, 2003)	ロシア・ハンティマンシ自治管区において、住民80名が原因不明の感染症に罹患した。症状は高熱、咽頭痛、消耗性の咳嗽である。
237	細菌感染	AABB Association Bulletin #03-12, 2003, 10/1	米国血液銀行協会の血小板製剤ガイダンス。血小板製剤の細菌汚染は0.1~0.3%の頻度で発生する。この問題に対して採血時における初血除去や汚染製剤を同定し、使用を回避する等の対策が示された。
238	細菌感染	aaBB Weekly Report, 2004.2.13	血小板製剤中の最近汚染検出のためのガイダンスをaaBBが発行する(2004.03.01)。
239	重症急性呼吸器症候群	IASR 2003; 24(12) (CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7)	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。
240	重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, Jan.2004, 347-350	SARSコロナウイルスのウイルス量はreal-timePCRにより、感染初期(1週間)の患者血液から測定できる。
241	重症急性呼吸器症候群	ProMED 1/9, 2004 (NY Times & 中国衛生症 SARS website 1/8, 2004)	SARSの感染流行状況報告
242	重症急性呼吸器症候群	THE LANCET 2003; vol.362, August30, 714	カナダ・ブリティッシュコロンビア州で、2003年7月以降にSARSの流行の疑いがあったが、調査の結果、SARSウイルスとは違うコロナウイルスの他の型であろうと推測されている。
243	重症急性呼吸器症候群	U.S.Department of Health and Human Services Food and Drug Administration Center for Biologics Evaluation and Research 2003/9/16	FDAは業界向けガイダンスとして、SARSの擬似感染やSARSへの暴露発生した場合のドナー適正評価及び血液製剤の安全性評価に関する勧告を公表した

番号	感染症	出典	概要
244	重症急性呼吸器症候群	WHO HP 9/10 2003, 11/17 2003, 1/5 2004, 1/17 2004, 1/27 2004, 1/31 2004,	WHOにおけるSARS終息宣言後に報告された症例
245	重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
246	重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
247	人畜共通感染症	Cell Transplantation, vol.13 137-143, 2004	ブタ豚島細胞由来のブタ内因性レトロウイルス(PERV)がin vivoにおいてヒトの細胞に感染した(5匹中3匹)。またヒト血清が感染を防いでいるので、異種反応性自然抗体がPERVの感染を防ぐことが示唆された。
248	人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
249	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
250	人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。
251	大腸菌性胃腸炎	Emerging Infectious Diseases 2003,9(12)p1592-1597	ウサギが、腸管出血性大腸菌の保有宿主であることが確認された
252	炭疽	ProMED 1/14, 2004(Xinhuanet 1/12)	ザンビアで炭疽による死亡患者10名が発生。死亡した10名は炭疽に感染したウシの肉を食べて発病した。
253	炭疽	ProMED 1/30, 2004(Saskatoon Leader Post 1/28)	カナダSaskatchewan州で炭疽感染確認
254	炭疽	ProMED 10/25, 2003 (Panafrikan News Agency Daily Newswire 10/24, 2003)	ジンバブエ北部での炭疽流行の報告。ヒトと動物両方で症例が発生した。
255	炭疽	ProMED 10/31, 2003 (IPPmedia.com 10/28, 2003)	タンザニアで炭疽の疑いで6名が入院。汚染が疑われる肉の摂取が原因と考えられている。
256	炭疽	ProMED 12/6, 2003 (Regions.RUTHENIUM 12/5, 2003)	52歳の女性が炭疽と診断された。汚染された肉の摂取が原因と考えられる。
257	炭疽	ProMED 2/17, 2004(The Herald 2/16 2004)他	ジンバブエで炭疽流行の報告。大部分の患者がウシを食べて炭疽に罹患した。

番号	感染症	出典	概要
258	炭疽	ProMED 2/5, 2004 (ITAR-TASS 2/4, 2004) 他	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。
259	炭疽	ProMED 3/18, 2004(ABC Online, Australia 3/16)他	オーストラリアでウシの炭疽による死亡症例
260	炭疽	ProMED 3/30, 2004(The Hindu 3/19)	インドでウシが炭疽で死亡したことの報告
261	炭疽	ProMED-mail 2/4, 2004 (ITAR-TASS)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。
262	痘瘡	CDC MMWR, 2/13, 2004/53(5): 103-105	天然痘ワクチンの予防接種を受けた軍人から、その配偶者等に二次感染が見られた。
263	痘瘡	JAMA 2004; 291(6): 725-727	ワクシニアウイルスに二次感染した母親から、皮膚と皮膚もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通して授乳中の乳児に感染した初の症例
264	日本脳炎	日本ウイルス学会第51回 学術集会・総会 (2003.10.27,28,29)	日本各地のウマの日本脳炎ウイルス (JEV)NS1保有状況を調査し、JEV自然感染率を推定したところ比較的高い頻度でJEVの暴露を受けていることが明らかになった。
265	脳炎	ProMED 10/13, 2003 (Nwesda y 10/12, 2003)	米国ニューヨーク市スタテンアイランド地区住民の4名が原因不明の脳炎で重体入院中。SARSは除外、WNV検査陰性で、今後とも検査等を実施する。
266	発熱(不明)	ProMED 9/20, 2003 (NDTV.com 9/20, 2003 & GIDEON 9/19, 2003)	インドで過去3年間モンスーンの季節に原因不明の感染症で総数60名以上が死亡、専門家が調査に取り組んでいる。地元医師は、紅斑熱もしくは発疹チフスを疑っている。
267	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報)2004 (13)	風疹の定点あたり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い
268	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報)2004 (14)	患者の年齢群を過去5年間の報告と比較すると、本年は昨年までに比べて、10～14歳および20歳以上の割合が大きくなっている。
269	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報)2004 (15)	風疹の報告数の週報
270	麻疹	ProMED 2/20, 2004 (Hindustani Times 2/20, 2004&Pakistan Times online 2/22,2004)	インドで原因不明の疾患で小児が7人死亡。症状は麻疹に類似している。